

9・1小牧税務署請願行動(尾北・小牧民商) 税務行政の民主化求め77名が参加 「消費税10%再増税反対!」「戦争法案絶対廃案!」

尾北民商

9月7日号

尾北民主商工会
 TEL 0587-54-0524
 FAX 0587-54-1390

9月1日、尾北・小牧の両民商は、税務行政の民主化などを求め、小牧税務署請願行動を行いました。朝は大雨注意報が出るなか天気が大変、心配されましたが、なんとかもちこたえました。全体で77名、尾北民商からは67名が、行動に参加しました。この請願行動は、1986年に第1回目を行なって以来、毎年、かかさず行ない、今回でちょうど30回目となりました。



要請行動に先立ち小牧市の「まなび創造館」で集会を行いました。主催者を代表して、尾北民商の千田憲三会長が、基調報告を行いました。



千田会長は、今回30回目となる税務署請願行動の歴史的意義にふれたあと、この春に民商が行なった全会員調査の結果を示しながら、消費税の再増税や滞納が増大する国民健康保険税などについて、応能負担の原則、生活費非課税など民主的税制の立場から述べました。そして、最後に、消費税10%再増税反対の署名など運動の協力を呼びかけました。

集会後は、小牧税務署までデモ行進を行ない、小牧市民にアピールしました。小牧税務署では、請願書を読み上げ、総務課長に手渡すとともに、参加者それぞれが、請願書を提出するとともに、収支内訳書を返還しました。なお、今回の行動には、日本共産党のすやま初美さんが来賓として参加し、あいさつを受けました。

8・30国会包囲10万人行動に尾北民商からも参加 尾北地域では、江南市、犬山市、岩倉市でも連帯して行動!

マスコミでも話題になっている『8・30国会包囲10万人行動』が8月30日、行なわれ12万人が参加しました。尾北民商からも、愛青協の仲間とともに、岩倉支部の森田好騎さん(建設業・35歳)が参加しました。

森田さんは、行動に参加した感想を、「先日、お客さんから、戦時中に空襲で家が焼けてしまって大変だった話を聞きました。戦争だけは本当に困ると思って今回参加しました。人がたくさんいて、ここが本当に東京なのかもわからないまま、国会と思われる方向に向かってとにかく反対の声を上げました。都合が合えば、またこうした行動に参加したいと思います。」と語っていました。

この日は、全国で少なくとも1000ヶ所以上で連帯した行動が行なわれました。この地域でも江南、犬山、岩倉で連帯した集会が行なわれ、尾北民商の会員、事務局が参加しました。



岩倉支部の森田好騎さん(後列中央) 写真提供:愛商連